

農業保存食料品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	15～ 16	製品を箱詰めし台車に乗せる作業中、所定の位置に台車を設置し、自分も所定の位置につこうとして台車を跨いだところ、台車につまづき転倒し、左足を捻り被災した。	58	362	2	50 ～ 99
2017	1	17～ 18	仕事を終え駐車場に向かっている際、凍った路面に足を滑らせ、転倒し被災した。	59	719	2	300 ～ 499
2017	1	17～ 18	工場内を他の従業員と話しながら歩いていたところ、足元にあったパレットに気付かず、足を引っ掛け転倒してしまった。	52	417	2	30 ～ 49
2017	1	10～ 11	高さ20cm程の台の上に乗って千切り作業中、次の千切り用タンク（重さ約350kg）が運ばれて来たため千切機のスイッチを切り、台に乗ったままタンクを手前に寄せる動作の時、思いのほかタンクが動いたため、乗っていた台にタンクが当たりバランスを崩して、タンクのフレームに左足の脛をぶつけて負傷した。	26	391	3	10 ～ 29
2017	1	9～ 10	計量作業を終え、コンピュータースケール（計量機）から階段で下において歩き始めた時、床に落ちていた廃棄原料（スライスされた赤かぶ漬）を踏んでしまい、滑って転倒し、左足首を強打した。	57	417	2	30 ～ 49
2017	1	10～ 11	フォークリフトを後進運転している時にお湯（100?）が入ったキャスター付容器と接触し、お湯が長ぐつの両足の中に入り、火傷をし	24	519	11	100 ～

			た。				299
2017	1	15～ 16	当事業所梅倉庫内で梅干し10kg樽の移動作業中、手は空の状態でバランスを崩し足を滑らせてしまい（床には障害物なし）、体を支えるために右手を床に突っ張ったため、右手の手首を負傷した。	21	418	2	30 ～ 49
2017	1	8～9	派遣労働者である被災者が、調味液入りポリタンク保管庫にて、コ口付の調味液入りポリタンクを引っ張って出す作業中に、被災者が運び出そうとしていた調味液入りポリタンクと隣のポリタンクとの間に右手親指を挟み受傷した。	28	391	7	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	工場内の凍結庫内で、台車にのっているパンに入っている里芋を、台車から降ろそうとした時、足を横に滑らせて右手を床につき、右手首を痛めた。当初はすぐに良くなると思っていたが、痛みがひかなかった。	39	416	2	10 ～ 29
2017	1	15～ 16	工場内原料加工室でカボチャの裏ごし作業中に、器具の洗浄のため洗い場に移動しようとした際に、濡れていたエプロンの裾が長靴に張り付いていたため、踏み出しでつまずき転倒した。	60	417	2	10 ～ 29
2017	1	10～ 11	トイレ休憩から自分の持ち場へ戻るため、工場内の高菜ラインに歩いて移動中、床が濡れていて滑りやすくなっていたのに気付かず、右足を滑らせてしまい、尻を打撲した。	46	417	2	50 ～ 99
2017	2	9～10	野菜の下処理をしている際、左手に持っていた原料と右手のペティナイフを当てた時に、原料が滑りナイフの根元が左手の手のひらに当たり傷を負った。	37	364	8	30 ～ 49
2017	2	16～17	加工場内の清掃中、保冷库の上部を樽の上に乗って拭き掃除をしていて、終えて降りようとした際に右足かかところが引っ掛かりバランスを崩して後方に転倒して右手首を骨折してしまったものである。転倒時、近くに人はおらず他の2名は事務室内にいた。	58	371	1	1～ 9
2017	2	8～9	当社工場内作業場で、製品のなめこを袋に入れるために、袋を取りに行こうとして、なめこの入っている桶の把手についている紐に左	65	379	2	10 ～

			足が引っ掛かり、転倒し左足首にひびが入った。				29
2017	2	8~9	出勤後、当社工場駐車場に車を停めて、事務所向かって歩いていたら、躓いて転倒し手をついた際に右環指を負傷した。	38	417	2	—
2017	2	8~9	味噌の仕込み工場内で、ベルトコンベアーを使い、塩をストックーに入れる作業中、塩が滑らないように、濡らしたタオルをベルトにつけたところ、タオルがローラーに巻きついて、ローラーを止めないまま、タオルを引っ張って取ろうとした時、ローラーとベルトの間に指を挟まれてしまった。	57	121	7	1~ 9
2017	2	13~14	作業場にて、冷凍わさびの茎が入った袋を樹脂製ハンマーで叩きほぐす作業中、右手首に痛みを感じた。特に報告することもなくその後も作業を続けた。帰宅後右手首が腫れ上がった。	46	364	19	10 ~ 29
2017	2	12~13	生産1課搬出口より電動リフトにて製品を搬出後、製品パレットからリフトを引き出す際、レバーを強く引いた為、右足にあたり、リフトがバックする力でつま先が曲がり、右足薬指を骨折した。	49	362	7	50 ~ 99
2017	2	7~8	歩行中に、床についている高さ7、8cm位のパイプに躓いて前に倒れた時に、左膝を床にぶつけ負傷したものである。	59	417	2	30 ~ 49
2017	2	9~10	容器にお湯を入れようとホースを引っ張った際、ホースが足に絡まり転倒しそうになったため踏ん張って右足を床に着いたところ、足指を受傷した。	48	379	3	50 ~ 99
2017	2	11~12	包装工場内で小袋製品の包装作業時、計量したきゅうりをお椀付コンベアのお椀に乗せている時にきゅうりがお椀からコンベア上に落下した為に拾い上げようとして手を出したところ、お椀付コンベアのお椀が付いているステンレス板とガードの部分に指の先が挟まれた。	53	224	7	50 ~ 99
2017	2	16~17	本社南工場で仮詰の栗の一斗缶を開缶作業中、手が滑って足の上に一斗缶を落とした。	32	611	4	100 ~

									299
2017	2	11~12	会社敷地内にて、芋の搬入作業中、パレットを取りに行ったところ、コンクリート地面に2~3cm程の隆起があり足が躓いた。そのまま前方向に倒れ、両手を地面につき左掌を負傷した。	53	417	2			10 ~ 29
2017	3	10~11	原料処理ドームにて、コーンカッターの刃を砥ぐ機械の整備が終わり、3名で移動させようと3方に分かれ持ち上げようとしたところ、腰に激痛がはしり、腰椎圧迫骨折を負った。	62	612	19			50 ~ 99
2017	3	11~12	当社工場包装室において、被災者が大ざるにのった沢庵を白いコンテナへ移す作業をしていたところ手が滑り、左手の小指を大ざるに引っ掛けてしまい、指の間が裂けるほど大きく広がってしまい、神経を負傷した。	46	379	8			30 ~ 49
2017	3	8~9	2階の更衣室で作業着に着替えたあと、1階の作業場に向かう階段（1階の下から3段目高さ約60cm）でつまずき、1階の床に自分の体の左肩付近から転倒した。	62	413	1			10 ~ 29
2017	3	16~17	作業終了時前の清掃時に、機械周辺の床溝清掃の際、グレーチングを上げて行った。清掃終了後、グレーチングを元に戻す際にグレーチングと床の間に指を挟む。	56	418	7			50 ~ 99
2017	3	17~18	作業終了後にプレス機の洗浄をしている時、左手をプレス機の上に置いてスイッチを入れたことにより上下に動き、手の甲を切ってしまった。	36	165	7			30 ~ 49
2017	3	9~10	作業所内でキムチの攪拌が終わって、バットにキムチを入れ終わったので、機械を止めるように言ったつもりだったが、声が小さかったのか相手に伝わっておらず、自分は止まると思い込んでしまって、少し残っているものをとろうとして機械に巻きこまれて、右腕を骨折し、指のつけ根を切った。	65	165	7			1~ 9
2017	3	16~17	本社工場下漬室に於いて清掃作業中、白菜4つ割機をホースを使用し水洗いしていたところ、刃の部分に右手人差し指があたり負傷し	22	169	8			100 ~

			た。				299
2017	3	9~10	派遣労働者として勤務していた被災者が、下処理場にて生姜のすりおろし作業中、すりおろし器のスイッチが入っているのを確認したが、作動しなかったため、材料が詰まっていると思い、確認しようとしたら突然動き始め、触れていた右手が回転部に触れて示指と中指を受傷した。	45	165	7	100 ~ 299
2017	3	16~17	当社工場内で掃除している時に、機械（スライサー）に大根が挟まっており、機械を止めて、取り除かないといけなところを機械を止めずに大根を取り除いた為、右中指の先を切った。	35	165	8	50 ~ 99
2017	3	17~18	工場内原料加工室で清掃作業中、薬液の補充を行っている際に、誤って薬液のタンクを落下させてしまい、そのしぶきが目に入り、化学損傷による左目角膜炎となった。	34	514	12	30 ~ 49
2017	3	9~10	重石を2つ持ちあげた際に腰に違和感があった。その翌日、約20kgの塩袋を持ち上げて小樽に移そうとした際、再度痛みが出た。	37	611	19	50 ~ 99
2017	3	17~18	原料受入室にて、工場で使用する原料（さつまいも）の皮を剥ぐピーラーを清掃中、爪にはまった原料を取り除く為、高所で背がとどかないのでコンテナを二段積みにして作業していたところ、乗っていたコンテナが滑り、足場が崩れて後ろに転倒し、下にあったコンテナに腰を強打した。	58	371	1	10 ~ 29
2017	3	9~10	被災者は漬け物工場で、加工した製品の入ったプラスチック製の籠（重さ40kg~50kg）を台車にのせようとし、床から持ち上げた際に腰部に激痛が生じた。	29	611	19	1~ 9
2017	4	16~17	清掃作業中、側溝の鉄格子（40kg）を取り外している際、本人の足の上に落としてしまい、左足親指を骨折した。	50	611	4	10 ~ 29
		16~	包装室新設EFラインコンベアの清掃中、コンベアに設置した均し				100

2017	4	17	ローラーの近くで清掃したため、右手の肘までローラーに巻き込まれてしまった。	64	224	7	～ 299
2017	4	12～ 13	わさび茎を洗浄する機械（幅1.2m長さ4m高さ0.8m）の角型水槽で、ステンレス棒にビニールの管（熊手の様な形）が付いた搬送コンベヤーでわさび茎を洗い洗浄する。作業が終わり、水槽の水を排出し始め、機械の清掃を始めたとき、搬送コンベヤーは動いていた。水槽内の底の隅の方に残っていたわさび茎を前屈みになって取ろうとしたところ、回転している搬送コンベヤーと固定されている駆動軸の間に左腕を巻きこまれた。	29	165	7	～ 30 ～ 49
2017	4	10～ 11	漬物の製造および漬け込み作業をしていた際に、大ザルを洗浄しに行こうと体の向きを変えた所後ろに置いてあった水の入ったポリダル（高さ7cm程度）に体がぶつかり、バランスを崩し、足を滑らせて転倒した。その後、右腕に激痛が走り、起き上がることが出来なかった。	61	417	2	～ 50 ～ 99
2017	4	11～ 12	本社工場包装室にて歩いていたところ、床で滑り前方へ転倒し、足首を捻り骨折した。	59	418	2	～ 100 ～ 299
2017	4	9～ 10	製造現場でフルーツの1号缶のフタを電動缶切機で開けた時、金属粉が落ちる可能性があるためその金属粉を除去しようと8000ガウスの棒状マグネットを自分の右側に置いてあったカゴの中から取り、フルーツの中をかきまぜて、元のカゴの中へ自分の感覚でカゴの中を確認せずに戻した。取った時にはなかった柄の付いたマグネットがカゴの中に入っていることに気づかず、置いた瞬間に引き合い、間に右中指を挟まれて負傷した。	45	364	7	～ 100 ～ 299
2017	4	10～ 11	工場内での栗の製造工程において、製品の整形機のベルトに汚れをみつけたのでタオルで拭きとろうとした際、機械を止めずに行ったためタオルが機械に巻きこまれ、慌てて取ろうとしたときに自分の右手をローラーに巻き込んだ。	67	165	7	～ 50 ～ 99

2017	4	15～ 16	村道にて竹林搬出道路伐採作業中に、台風通過後の竹が倒れ、乱れた環境で竹が村道に倒れ乱れており、笹の葉が腐葉土となり足場が不安定だった。台風通過後で村道に竹が倒れている状況で、村道に倒れている竹を伐採中に背後から別作業者の車が通過した際に、伐採した竹を踏む音に驚き、振り向いた時によろめき倒れ、右手首について骨折した。	77	719	2	1～ 9
2017	4	11～ 12	茶業センターパッケージ室の資材置き場で小売茶を入れるダンボールを取る時、脚立を用い積んであるダンボールの上に登り、ダンボールを下におろして積んであるダンボールから降りようとして、脚立を踏み外して転落してしまい頭部と腰部を打撲した。	61	371	1	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	真空包装後の袋の中身を均一にする作業中、整形機械に袋を押し込む際、モーター近くの袋端を挟んで入れた時ゴム手袋、ゴム製の腕抜きをしている作業である為、袋ごと指・手・腕を挟まれてしまった。	34	163	7	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	工場内の大豆蒸煮室で、煮豆を運搬用トロッコに掻き出す作業をしている時、作業に夢中になり後方のトロッコに気付かず、腰（尾てい骨）の辺りをぶつけ、打撲を負った。	42	362	3	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	漬物製造室で漬物の袋詰作業中、選別されラインからはじかれた袋詰を回収するため、左手側検査場所方向に歩を進めたところ、右足が足マット（ウレタン製畳1/6サイズ、厚さ3cm防寒疲労軽減用）に躓き引っ掛かり、バランスを崩し両ひざをつき転倒した。その際に左足を不規則について捻じったため、その衝撃で左足足首（くるぶしの上）を骨折した。	63	417	2	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	工場より外へ容器バットを運ぶ際、足洗バットに躓き転倒し、正面の階段の縁で頭部を打撲した。	66	911	2	10 ～ 29
			冷凍工場内において、清掃及び翌日準備のため、3名にて作業していたが、終了したので工場内の電灯を他2名に消灯する旨を確認後、消				300

2017	6	3～4	灯したところ、被災者が暗い場所におり、その中で移動したために床に置いてあった鉄製リング（高さ10cm程度）に躓き、膝をついた際に鉄製リングに強打し負傷してしまった。	49	417	2	～ 499
2017	6	17～ 18	当社工場内で袋詰め冷凍野菜の解凍作業中に、約60℃設定のお湯に防熱用のゴム手袋を付け手を入れてもみほぐす作業を行っていたが、継続的に作業することで、指に水疱が出来、水疱が破れてしまった。爪さきの変色も見られた。	67	379	11	～ 299
2017	6	15～ 16	当社工場内3号包装機（ペースト製造）において、作業終了後、商品を持って金属探知機の確認を行い、その商品のセイロの所に移動中、ラック取手を跨ぎ（約30cmの高さ）、その際につま先が引っ掛かり転倒した。手に商品を持っていた為そちらをかばい、手の平を床に打った。商品（縦25.7cm、横18.2cm、1個1kg）	59	417	2	～ 299
2017	6	10～ 11	生産管理課出荷場にて、マイコロイダーをフォークリフトにて移動中、マイコロイダーがずり落ちそうになったのでハンドリフトで支えたが転倒し、支えていた右腕をマイコロイダーの突起した部分にて5～6cm程裂傷した。その際、右足脛も擦り傷を負った。	42	611	4	～ 299
2017	6	15～ 16	前処理室において、白菜切断作業終了後、清掃作業実施時に殺菌洗浄槽の底板を外している時に、本来使用する取っ手を持たずに本体の縁を持っており、いつもとは反対の側から外した際にバランスを崩し、底板と洗浄槽本体の間に指を挟んでしまい、右手中指に力がかかり、圧迫骨折をしてしまった。	38	169	7	50 ～ 99
2017	6	16～ 17	見学者用通路内倉庫の整理整頓中に物を運んでいた際、足元の水に気付かずに踏んでしまい滑った。	59	417	2	～ 299
2017	6	14～ 15	Aラインのスライサー後ろのコンベアーのコードに腕が絡まった状態で反転した為、腕を痛めてしまった。	40	224	19	～ 299

2017	6	16~ 17	乾燥工場の乾燥室乾燥台E台、F台の間で、振りかえった際に床で足を滑らせ転倒した。転倒の際、左手を床についたため左手を怪我した。転倒時、床は水で濡れていて、水分を含んだケールカスが散らばっており、靴裏にもカスがついていたことから滑りやすい状態になっていた。	65	417	2	100 ~ 299
2017	6	17~ 18	キムチ漬け込み冷蔵庫内にて、グレーチングを外して掃除後、元に戻す際にグレーチング用の道具を使用せずに右手で元に戻した時、左手中指を挟み受傷した。	62	379	7	100 ~ 299
2017	6	13~ 14	本社工場内で、本人が野菜の切り込み作業を始めようとして、新品の包丁（カバー付き、刃渡り約20cm）を左手の手の平にのせ、カバー部分を親指で押さえ、右手で包丁本体をカバーから抜いたところ、刃が左手人差し指の内側の第一関節と第二関節の間に当たり、切傷となったものである。	70	364	8	10 ~ 29
2017	6	12~ 13	加工場にて鶏そぼろをレトルトパウチに充填している時に、パウチ供給部に落下しているパウチがあり、手で取り除こうとした際に機械を停止させずに行ったため、機械に腕を挟まれて裂傷した。	24	169	7	100 ~ 299
2017	6	10~ 11	自社漬物棟包装場内において、製造機械を移動させている時、包装機の角と移動させていた製造機械に左手を挟み、受傷したものである。	61	169	7	30 ~ 49
2017	6	12~ 13	たくあんの原料である干し大根を、FRP容器に漬替える作業をしている時、その容器に横付けしてある落下防止用の作業台（同じFRP容器に板で上蓋したもの）より飛び降りた際、左足踵を地面に強打ち、骨折してしまった。作業台から降りる際は2段階を使用すべきであったが、徹底されていなかった。	67	417	3	100 ~ 299
2017	7	11~12	消毒用の塩素を補充するため空のバケツを持って加工場内を歩行している時、床に出ているアンカーにつまずいて転倒し、左ひざを負傷した。	58	417	2	30 ~ 49
			木造一般住宅（2階建て）建設工事現場で、人力にて2Fの床パネル				

2017	7	9~10	(865mm×5005mm、249kg)を上階へ荷上げ作業中(荷上げ7名、荷受け4名)上げきれず、体制を整えるため、荷を下ろす際に後方の壁と荷の間に指を挟み、再度動かしたため、指を裂傷した。ベトナム、実習生	50	169	7	50 ~ 99
2017	7	17~18	当社工場内において、作業終了後に工場内を移動していたところ右太ももに強い痛みを感じた。日頃の作業内容は、漬物製品の日付確認、異物検査、梱包、台車へ積む作業(重量は最大で10kg程度)などで、重量物を扱う作業を行っており、その蓄積から痛みが出たものと思われる。太ももに痛みを感じていたが、疲労からくるものと思い、病院にはかかっていなかった。勤務をしたが痛みが続いた。	21	611	19	50 ~ 99
2017	7	9~10	会社工場内出荷場にて被災者が伝達のため出荷場に入り机の上に伝票を置きそこから立ち際ろうとふりかえった際、被災者の後ろを移動していたフォークリフトの左後輪に左足甲をふまれ負傷したものである。被災者が後方の確認をせず咄嗟に動きだしたことが原因と思われる。	23	222	7	30 ~ 49
2017	7	11~12	構内にて、4tトラック(ウイング車)を停車し、荷降ろしのため同トラックより降りる際、慌てて飛び降りたため、誤って右足小指を骨折負傷した。	28	364	8	100 ~ 299
2017	7	16~17	重さ20kgのリンゴ原料を開缶後、原料選別台に投入時、手が滑ってしまった。右手で缶を持ち、左手で支えていたため、持ち直した時にはみだしていた金属バリに右手があたり、右小指第二関節と右薬指第二関節付近を切ってしまった。	23	611	8	100 ~ 299
2017	7	8~9	コンベア上の桃の種取り作業時、次工程の蒸気による熱処理の機械入口よりもれでている蒸気で右手首付近をやけどした。種がとれていないものを機械入口付近で入らないように戻そうとしたため。	62	165	11	30 ~ 49
2017	7	11~12	工場内の小巻現場と殺菌槽付近(気温27.5度湿度70%)で、半そで、長ズボン、長靴、帽子、マスクで小巻商品のカゴ取り機の不具合のため、手での作業がいつもより煩雑になっており、その作業を	42	715	11	50 ~

			続けていたところ、頭がボーっとし、立つのも辛くなり、頭痛もしてきたので早退した。自宅で静養していたが、治らなかった。					99
2017	7	9~10	検体を冷蔵庫内の検体置場に持って行こうと冷蔵庫に入ったところ、いつもの場所に検体置場がなかったので、冷蔵庫出入口付近で探していた際に、派遣会社運転のフォークリフトがバックで冷蔵庫に進入してきて、気付いた時にはフォークリフトが体の右側に接触し、倒れた時に右足首付近にタイヤが乗り受傷した。	55	222	6	~	100 299
2017	7	14~ 15	工場にてとうもろこしの皮むき作業中、皮むき機（ローラー）に右手手袋中指の指先がとられてしまい、自分でとっさに引いた。救急車が来るまで冷蔵庫の氷で冷やすと共に血液止めを行った。	67	165	7	~	10 29
2017	7	17~ 18	工場内勤務で製造終了後に桃充値コンベアを掃除していた。コンベア裏側が汚れていた為ウエスを使い拭き掃除を行うも稼働部付近で電源を止めずに作業した為、ウエスと右手が巻込まれ被災した。10日間通院治療を行ったが皮膚の状況が悪く医大で治療となった。	21	224	7	~	100 299
2017	7	8~9	当社工場内、冷凍冷蔵庫棟内の荷捌き場で出荷商品を積んだ水槽器を、被災者と同僚が手押し作業中、後方から走行してきたリーチフォークのフォーク先端部が、誤って被災者の右足首部に触れ、被災者が同部に挫傷を負った。	56	222	6	~	100 299
2017	7	14~ 15	工場内において、中二階の床の清掃作業後、脚立から降りようとしたところ、脚立のネジが外れ、2mの高さから転落して負傷した。	41	371	1	~	50 99
2017	7	15~ 16	作業中、木製パレットが右足小指に落ち、骨折した。	63	222	7	1~ 9	
2017	7	10~ 11	工場第3倉庫内の15t地下タンク（L2.4m×W2.5m×H2.5m）に、清掃のためアルミ製の梯子をかけ2~3段降りたところ、12段梯子の下から5段目が折れ、折れた梯子の上に尻から落下し受傷した。	27	371	1	~	30 49
		10~	工場内において、高さ180cm位のストックコンベアの箇所をきれいに					30

2017	7	11	して、降りるため右足をステンレス製のカバー部分にのせようとしたとき、滑ってしまい、右脇腹部を強打し負傷した。	50	224	1	～ 49
2017	7	17～ 18	工場内を歩行中、野菜くずを踏み、滑って転倒した際に左手首を負傷した。	32	416	2	50 ～ 99
2017	7	13～ 14	工場において、1階包装7号機で、納豆を自動で包装・箱詰する機械（アンケーサー）内に引っかかっている豆を、機械に手を入れて取り除こうとしたとき、機械の停止ボタンを押し忘れたため、豆が除去された際に吸着機が作動してしまい、左腕を挟まれて負傷した。	29	169	7	50 ～ 99
2017	7	15～ 16	被災者は、缶詰を箱に入れる作業を行っていた。缶詰は、ステンレス製のクーラー（縦93cm×横80cm×高さ70cm）に入れられ、台車の上に載せられた状態で、作業を行っている周辺に置かれていた。前の作業分が終わったので、次の缶詰を用意しようと、被災者を含め3人でクーラーを動かしているときに、台車の車輪に右足甲・指を踏まれ負傷した。	25	611	7	50 ～ 99
2017	9	11～ 12	被災者は、レトルトコーン製造ラインの掃除、後片付けをしていた。とうきびを袋に詰めていくライン上の、ステンレス製の板（120cm×20cm、重さ1.5kg位）が洗い終わって置かれていたのを、収納する為、別のテーブルの上にまとめておこうとした。板を製造ラインから外し長い辺の一方をゴム手袋をはいた、片方の手の指で挟んで持ち、もう一方の長い辺を、別の手でかかえるように下から持とうとしたところ、板の表面の水滴で手から滑って板が被災者の胸元付近から垂直に落下。長靴の上から左足の指に長い辺が当たり、負傷した。	56	165	4	50 ～ 99
2017	9	15～ 16	工場内に入るため、エアーシャワーを出て足洗い槽にて長靴を洗浄し、槽から出る際に槽の縁に躓き転倒し、右肩を強打した。	66	379	2	10 ～ 29
			当社製造野沢菜の塩漬けをコンテナ詰めをして（1コンテナ25袋				

2017	9	9~10	30kg) をパレットに24コンテナ積み合わせ、ビニールラップでくずれないようにしばり、リフトにてトラック荷台に積み込みジョルダーを使用して移動400コンテナを積み込む、荷台の上で移動の時前に傾斜してあるが人手で押して移動する。その際、本人が足をすべらせバランスをくずし落下した。下はアスファルト高さ1.2~1.3m程だが、腰、脇腹を打ってしまった。何年も作業していることで油断があったのかもしれない。	39	221	1	10 ~ 29
2017	9	6~7	工場内にて、1t水槽を起こして洗浄し、元にもどした際に、左足に水槽を落とした。	47	391	4	100 ~ 299
2017	9	11~12	工場内にて作業中、お茶の合組機のチェーン部分から異音が聞こえたため、状況を確認しようとした際、誤って右手の人差し指の先端(つめの部分)をチェーンに挟み込んでしまった。	19	121	7	50 ~ 99
2017	9	15~16	食品工場の製造、下処理現場にて、ベルトコンベアーで野菜の下処理を行っているとき、野菜がベルトコンベアーの刃に詰まった、その野菜を取り除こうとして、電源を切らずにベルトコンベアーに指を入れてしまい、左手中指を切断した。	63	165	8	50 ~ 99
2017	9	11~12	ポコットチーズ包装機の台紙装置の動きが悪く、設備保全担当である作業員と2名で修理作業をしていた、装置の確認をするため、駆動部カバーを外していた、途中、作業員Aが別の装置の機械の調子が悪いと呼ばれ、その場を離れた、作業員Bは、トイレへ行き、戻ってきってから作業を再開したが、それよりも早くに作業員Aが走ってきており、包装機の下に滑って作業していた、作業員Bは、作業員Aの存在に気付かず、スタートボタンを押してしまったため、作業員Aの右手人差し指の先端が駆動部のチェーンに挟まり、裂傷したものである。	25	165	7	500 ~ 999
2017	9	14~	A棟充填作業室でカップ容器にフタをする作業中、シール機ローター部分で容器が停止した為、とっさに手を入れてしまい、センサーが	52	169	8	—

		15	反応し左手の中指指先をシール機で切ったものである。				
2017	9	8～9	工場の中から外に出る時、中から50cmの高さから外にジャンプしたさい、下の鉄板の端に足をついた所、足半分が鉄板の端にのってしまいそのままひねって転んだ。	42	417	19	50 ～ 99
2017	9	11～ 12	会社所有の畑で、高菜の廃棄作業をしていた際につまずいて左足をひねり、左足甲から指先を骨折した。	61	719	2	30 ～ 49
2017	9	14～ 15	工場内で、釜から10kgの材料が入ったダンボールを冷却装置に運び、空のダンボールを持って、再び釜のところへ行く作業を繰り返して行っており、空のダンボールを3つ抱えて釜のところへ戻る際、通路にあつたコンテナにつまずき、前方に転倒し、右半身から床に落ち負傷した。	50	611	2	10 ～ 29
2017	10	17～ 18	被災者は退社時間になったので、帰宅準備のため、工場建物内の作業場所から手洗い場を通り、ロッカールームに向かって歩いていた。手洗い場とロッカールームの間には、エントランス空間があり、引き戸で仕切られている。手洗い場を通り、引き戸を左手で開け、エントランス空間に出ようとしたところ、引き戸の下、5ミリ程の高さのレールに、右足のつま先を引っ掛け、前のめりに転倒。顔面と左手首をコンクリートの床にぶつけて負傷した。負傷直後は痛みをさほど意識していなく、大丈夫だと思ったが、帰宅後、しばらくして腫れと痛みが出た。	72	417	2	50 ～ 99
2017	10	13～ 14	会社野菜加工場において、ケースを洗い終わった後の水槽（70cm×50cm×41cm）の水を斜めにして排水溝に向けて捨てる作業中、手が滑って水槽を左足に落として負傷した。早退し、怪我の状態をみていたところ、足が腫れて痛みがあった。	51	391	4	30 ～ 49
2017	10	20～ 21	工場内包装ラインエリアにて、歩行中に足が滑り、転倒した際に左腕を床につき、左橈骨を骨折してしまった。包装作業が終わり水か	66	417	2	100 ～

			き清掃をする前の出来事で床が濡れていて滑りやすかった。				299
2017	10	15～ 16	事業所工場内に於いて、折り曲げた状態の脚立に乗って天井を雑巾を使って一人で掃除していた際、途中でバランスを崩して脚立が倒れてしまい、地面に落下し負傷してしまったもの。	57	371	1	1～ 9
2017	10	15～ 16	みかんの選果作業中に、コンテナを移動しようとした時、体勢を崩し地面に転倒した。	71	418	2	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	クリーンルームでキャベツのスライサーを使って作業をしていたところ、スライサーが止まったので、本来は電源を切るべきところを忘れてしまった。その際、右手をスライサーに入れた時に動いた刃物に右手中指が触れて切創し、4針の縫合治療を受けた。	51	165	8	50 ～ 99
2017	10	16～ 17	二連梱包ラインにて、パレットを動かそうと持ち上げずらしていたところ、誤って右足の上に落としてしまい受傷した。	21	379	4	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	缶詰製造工場の18号缶製造ラインに従事し、冷却作業を行っていた。冷却曹の通路（長さ5m、幅40cm）にいた時、殺菌冷却曹側を向き、かがみ込んだ時、後方の産業ロボットの防御フェンスにお尻部分を接触し押される形で冷却曹に転落し回転するローラーに右足を挟んだことにより右足のつま先部を骨折した。	48	416	1	100 ～ 299
2017	10	9～ 10	高菜の手洗い洗浄作業中に気分が悪くなり持ち場を離れようとしたが、意識を失い転倒。顔面を床に強打し、右頬を骨折した。	22	417	2	100 ～ 299
2017	11	8～9	前日の雪のため出勤時に現場敷地内の駐車場で滑り後ろへ転倒し、左肘を骨折した。	43	719	2	10 ～ 29
2017	11	15～ 16	片手に手提げとファイルを持ち、第二工場の階段を下りている時、バランスを崩し、手すりに掴まったが身体を支えきれず転倒した。	44	413	1	100 ～

			階下に転がり落ちて（10段位）、頭と腰や背中を打った。						299
2017	11	11～ 12	被災労働者は、当社工場内にて、野菜カット作業中、ハウレン草をラインに流していたところ、ハウレン草が大量に流れたためカッターの所で詰まってしまい、それを取り除くため左手をカッター付近に入れたところ、機械の停止スイッチを押していなかったため、カッターが動き、誤って左手中指を受傷したものである。	27	165	7			10 ～ 29
2017	11	11～ 12	工場1階のユニフォーム仕上げ場で作業中、畳まれた製品を出荷台車に積み込む際、慌てて、ロットの仕切りに使用する布に乗ってしまい、足を滑らせ転倒した。転倒した時に右足首を捻ってしまった。	49	165	8			10 ～ 29
2017	11	15～ 16	駐車場内にてトラックの荷台よりパワーゲートを使用してカーゴの搬出を行っていたところ、勾配のある場所にて作業を行ったためストッパーを外した途端に勢いがついてカーゴが下がって来たため、左足で止めたところ、負傷したものである。	20	165	8			1～ 9
2017	11	9～ 10	第一工場エレベーター前にて搬送作業中、ブルーベリーの入った箱を積んだパレットを自動搬送機に載せた後、下部分の箱が潰れて荷崩れを起こしていた。それをガイドに合わせる為、装置下の鉄枠とローラーに足をかけ手直ししようとした。その際にバランスを崩して転倒し右手を床につき、負傷した。その後、手首に痛みがあった為、湿布をして経過を見ていたが、症状が改善されなかったため、病院で受診した。	52	224	2			100 ～ 299
2017	11	17～ 18	当社事業場内において使用しなくなった機械を台車に載せて同僚と運搬していた。外部シャッターの内側で台車から機械を降ろす際に、機械の脚の下に自分の右足が入ってしまい、そのまま右足親指の上に機械の脚を降ろしてしまった為、同部位を負傷したものである。	56	612	7			30 ～ 49
2017	11	15～ 16	工場にて、午後に10分与えられる休憩中、加工場の外へ出て、2階にあるトイレに行き、給茶器のお茶を飲んで水分を補給した後、加工場に戻るために、階段を下りていた際、足を踏み外して左膝を床で	67	413	1			30 ～

			打ち、骨折したものである。				49
2017	11	18～ 19	屋外にある洗浄用の水槽をスプレーガンを使用し清掃作業中、他の作業者に協力を依頼されたため水槽そばを移動したことから水道ホースに躓き転倒し、右膝を地面で強打した。	67	379	2	100 ～ 299
2017	11	18～ 19	工場内で緋のかぶらをスライサーでカットする作業中、本人が緋のかぶらをベルトに投入していたところ、かぶらが詰まったので押し込もうと、機械を停止させずに、手を入れてしまった為に右手中指に裂傷を負った。	53	169	8	10 ～ 29
2017	11	16～ 17	高さ約110cmのタンクの清掃を行おうと、設置している階段（下から1段目か2段目）を踏み外し、右胸を階段の縁で打った。	72	413	2	30 ～ 49
2017	11	9～ 10	被災者は、みかんの内皮を薬品で処理を行う、薬品処理の担当で、薬品処理室で作業を行っていた。みかん製造時は、地下よりベルトコンベアで内皮がついたみかんが薬品処理室に送られてくる。この地下から送るためのベルトコンベアは緩みが生じると、機械が停止してしまうため、通常より1日数回、ベルトコンベアの張り具合を確認していた。被災者はこの張り具合を確認していた際に、誤ってベルトコンベアに巻き込まれ右腕を負傷した。	55	224	7	50 ～ 99
2017	11	9～ 10	凍結した魚の脱パン作業中に足場に足を掛けていたが、方向転換の際に足場を入れ替えようとしたところ、足場を踏み外して受傷した。	50	411	1	50 ～ 99
2017	11	15～ 16	事業場内の加工室でほうれん草を投入する作業をしようとした際、側溝の蓋が外してあることに気付かず側溝に足が入り、バランスを崩して手をついてしまい右手人差し指を負傷した。当日はそのまま勤務したが、痛みがひかず翌日受診した。	63	418	2	30 ～ 49
2017	11	14～ 15	竹林の中で枯竹の処理作業中に、足場の悪い急斜面を枯竹を抱えて移動中に、持っていた枯竹の枝がはじかれ目に当たった。	58	712	6	1～ 9

2017	11	16~17	当社加工センター工場内で、裏漉し器の電源を切った状態で、容器の底に残った焼き芋を手で奥に押し込んだ時、無意識に電源スイッチを押してしまったため、右手の中指が裏漉し器のスクリューに巻き込まれ、指先を切断した。	30	165	7	30 ~ 49
2017	12	19~20	冷凍食品部凍結工程Aラインから管理室に戻るためフリーザー横の階段を降下中に足を滑らせ転倒し、右脇腹辺りを強打し負傷した。	62	413	2	100 ~ 299
2017	12	7~8	駐車場のアスファルトが凍結していた為、車から下りた際に足を滑らせた。その時に手をついて手首を負傷した。	71	719	2	10 ~ 29
2017	12	9~10	包装室内にて、添加液を入れたビーカーを持って移動中、取り除き漏れた野菜片が床にあったが、気付かずに踏んでしまい、滑って転倒し負傷した。	41	417	2	100 ~ 299
2017	12	17~18	工場内で、年末の大掃除をしている時、エアコンヒーターの水拭きをしようとして、ヒーターの羽根を停止させないまま作業を行い、右腕が回っている羽根にぶつかり負傷した。	59	391	7	30 ~ 49
2017	12	10~11	工場では箱詰出荷の作業中に、15kg程の荷物を持ちあげ、梱包用バンド機に移動させる際、ぎっくり腰になった。	33	921	19	50 ~ 99
2017	12	15~16	当社第二工場内で同僚と2人で解凍作業中、解凍したエビの入ったステンレス製の籠を引き上げた際、同籠が作業衣であるエプロンに触れめくれ上り、同部から籠に付着した熱湯が右長靴に入ったため、慌てて靴下を脱いだところ、右足甲部の皮膚が剥がれてしまった。	27	715	11	100 ~ 299
2017	12	11~12	作業中、階段を降りようとして振り返った際、エプロンの裾を踏んでしまい、階段の1段目から転落し、右膝を負傷した。	52	413	1	100 ~ 299
			朝、自転車で工場に到着後、敷地内にある駐輪スペースで、自転車				30

2017	12	8~9	から降りて玄関に向かう途中、同じ駐車場スペースで躓いて転び、膝をコンクリートで強打して膝蓋骨を骨折した。	52	417	2	~ 49
2017	12	10~11	加工場にて、製造品であるカップ上面にラップを貼る機械の調整中、ラップが少したわんでいたため、製品排出口より手を入れ、そのラップを引っ張ろうとしたところ、ラップを切り離しているカット刃に左手指が接触した。	40	169	8	50 ~ 99
2017	12	10~11	漬け込み作業場A棟で、地下タンクの中の大根に塩を振っていたところ、足が滑って隣の地下タンクに落下し、左足を負傷した。	49	414	1	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html